

座屈拘束ブレースを開発

外径小型化と作業効率向上

JFEシビル
JFEスチールとJFEシビルは座屈拘束ブレース「J-RODブレース」を新たに開発、来年から販売を開始し初年度の受注額は1億円を目指す。

ブレースとは一般的に柱や梁の間に斜めに設置し、鉄骨造の建築物に強度を持たせる部材。JFEシビルでは既に芯材および補剛材ともに鋼管を用いた「二重鋼管座屈補剛ブレース」を製造・販売しているが、今回開発したものは芯材に棒鋼を使用、外径を2〜3割小さくしスリムな外観を実現した。このため、建物の外壁や窓枠に取り付けるブレースとしてデザイン性をさらに高めた形状となっている。また全ての部品をネジで接合しているため、溶接することなく簡単に組み立てることができる。